

ここが見どころ

スポットライト!

うらわ美術館展

うらわ美術館ってどんな美術館なの?

うらわ美術館は2000年に開館した、さいたま市に住むわたしたちの「地元」の美術館です。



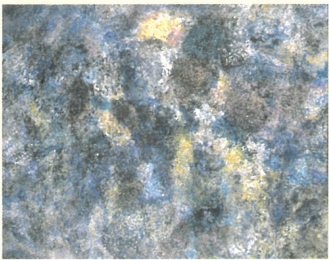
高田誠《浦和田島ヶ原のさくら草》1970年代後期

とくちょうその1

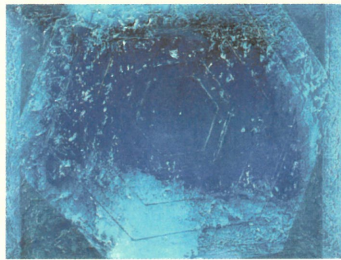
「地域の美術館」

さいたま市に住んでいた美術家など「地域ゆかりの作家」の作品を集めたり飾ったりしている美術館です。

ひと筆ひと筆に命を燃やした大作 アートカードで人気No.1!



瑛九《ながれ-たそがれ》1959年



杉全直《きっこう》1973年

芸術の秋、うらわ美術館の「美」どころが
たくさんつまった展覧会へでかけてみませんか?

とくちょうその2

「本の美術館」

日本で初めての、美しい本や
芸家がつくった本など「本を
めぐるアート」の作品を集めたり
飾ったりしている美術館です。

すな砂でできた本!?



荒木高子《砂の聖書》1996年

封印された本?



加納光於《アララットの船あるいは空の蜜》1971-72年

会期

平成29年

11月18日(土)~

平成30年

1月14日(日)

休館日 月曜日(1月8日は開館)、1月9日、年末年始(12月27日~1月4日)

開館時間 午前10時~午後5時、土曜日・日曜日のみ~午後8時(入場は閉館の30分前まで)

観覧料 中小生以下 無料/大高生 410円/一般 610円
*各種割引もあります。

作品は全てうらわ美術館所蔵



問合せ先

うらわ美術館
URAWA ART MUSEUM

さいたま市浦和区仲町 2-5-1 浦和センチュリーシティ 3F
Tel 048-827-3215 Fax 048-834-4327

この印刷物は105,000部作成し、1部当たりの印刷経費は3円です。

みんなで鑑賞にチャレンジ！

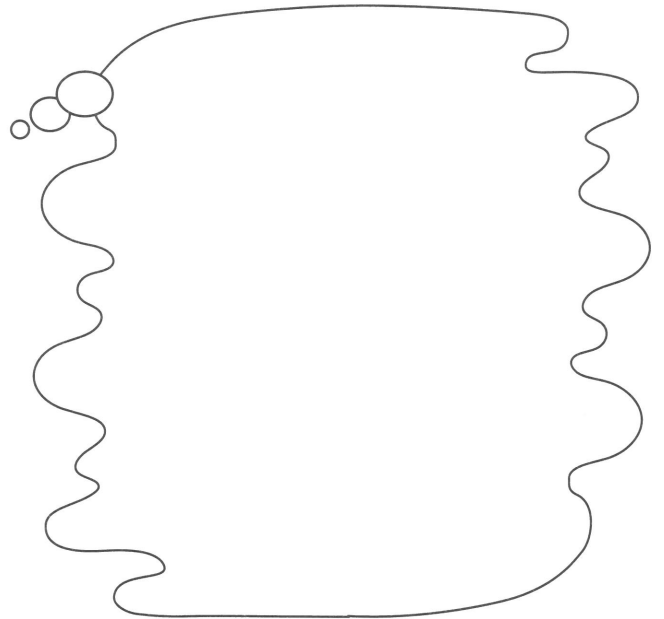
鑑賞は難しそう？ そんなことはありません。自分なりに作品の「よさ」や「美しさ」「おもしろさ」などを見つけたり、感じたり味わったりすれば大丈夫。間違いなんてありません。ぜひお家の人やお友達といっしょにチャレンジしてみましょう！

①下の作品を30秒間じっくり見てみましょう。

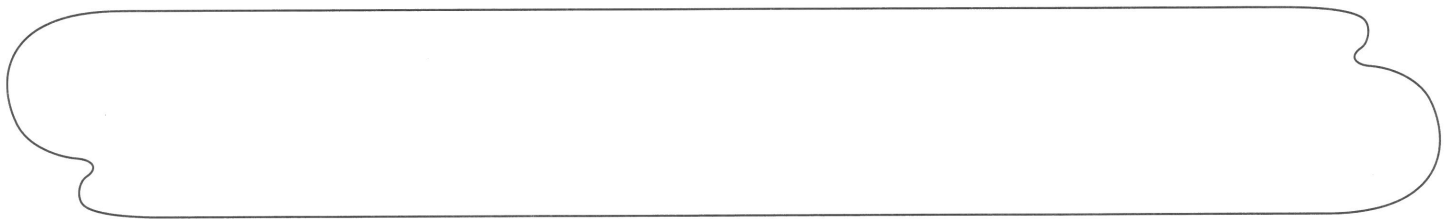
②この少年はどんなことを考えているのでしょうか？



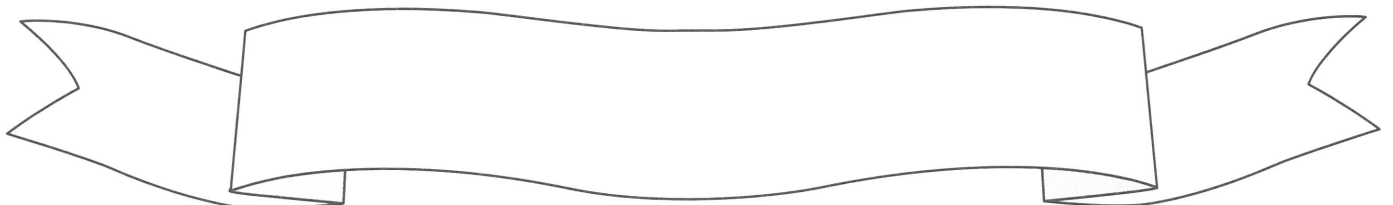
田中実《椅上の少年》1952年



③どこを見てそう思いましたか？



④この作品に自分なりの題名をつけてみましょう。



お互い感じたことを伝え合うと、鑑賞がさらに深まりますよ！
本物を見たくなったらぜひうらわ美術館へ！